# 第 5 回 古賀市基本構想審議会資料

# 第4回審議会におけるご意見・ご質問への対応

令和3年6月11日 古賀市経営戦略課

# ご意見(地域保健・医療分野)

#### 現状と課題

6~7 行目「特に高齢化に伴い糖尿病患者が増加すると考えられ…」の文章と 3 ページの関連データ (7) がマッチしないように感じました。糖尿病性腎症による人工透析新規患者数について明らかな増加は認められず、血管を傷める疾患医療費に関しても糖尿病以外の項目でも年度比較で増加しています。高齢化に伴う糖尿病患者の増加が顕著に示されている (予測される) データを使用するほうがよいかと思いました。

古賀市で糖尿病が課題であることは明らかだと思いますが、古賀市のデータヘルス計画においては、糖尿病以外にも脂質異常症の所見も県や国と比較して多いこと、加えて、健診未受診者の中に高血圧の者が潜在的に多い可能性も示されています。メタボリックシンドロームの課題を示したうえで、糖尿病が最優先と表現してもよいかと考えます。

# ご意見(地域保健・医療分野)

#### 現状と課題・政策2-1地域保健の推進と医療との連携促進

全体を通して古賀市の高齢化が高いからこういう課題があるというイメージを感じる。元気な高齢者であればよいのではないか。高齢者が多くなること自体がマイナスであるかのような印象を受ける。地域保健医療分野では高齢者が健康となる施策を検討いただきたい。

# 「分野別の現状と課題:地域保健・医療」の修正

#### 現状と課題

#### 《修正前》

健康でいきいきとした生活を送ることは、すべての世代の誰もが望む願いです。本市の健康寿命は、男女とも延びてきているものの、高齢者の増加は顕著であり、2040年頃には団塊ジュニア世代が高齢期に入り、さらに高齢化率が上昇することが予想され、社会保障の経費の増大が懸念されます。100歳以上の人口も年々増加し、「人生 100 年時代」ともいわれるなか、市民一人ひとりが自分の健康に関心を持ち、発症予防や早期発見・早期治療、重症化予防などに努めながら、主体的に健康づくりに取り組むこと、その取組を社会全体へ広めていくことにより、健康寿命を延ばしていくことが重要です。

本市の国民健康保険被保険者の一人当たり医療費は年々増加し、全国平均や福岡県平均より高い値で推移しており、生活習慣病関連疾患が多くを占めています。生活習慣病は予防が可能であり、その発症及び重症化予防に取り組むことが必要です。特に高齢化に伴い糖尿病患者が増加すると考えられ、糖尿病が骨粗鬆症や認知症に関連があること、要介護(支援)認定者の新規認定に至った原因疾患が、認知症、骨折、筋骨格系疾患、脳血管疾患が多いことからも、糖尿病の発症及び重症化予防が最優先の課題と考えられます。

#### «修正後»

健康でいきいきとした生活を送ることは、すべての世代の誰もが望む願いです。「人生 100 年時代」と言われるよう、古賀市の 100 歳以上の人口も年々増加し、健康寿命も男女ともに延びてきています。人生 100 年時代を健康でこころ豊かに生きていくためには、市民一人ひとりが自分の健康に関心を持ち、発症予防や早期発見・早期治療、重症化予防などに努めながら、主体的に健康づくりに取り組むこと、その取組を社会全体へ広めていくことが重要となります。

2040 年頃には団塊ジュニア世代が高齢期に入り、さらに高齢化率が上昇することが予想され、社会保障の経費の増大が懸念されます。本市の国民健康保険被保険者の一人当たり医療費は年々増加し、全国平均や福岡県平均より高い値で推移しており、高血圧や脂質異常症、糖尿病等の生活習慣病関連疾患が多くを占めています。生活習慣病は予防が可能であり、その発症及び重症化予防に取り組むことが必要です。生活習慣病の中でも今後は、特に高齢化に伴い糖尿病患者が増加すると考えられ、糖尿病が骨粗鬆症や認知症に関連があること、要介護(支援)認定者の新規認定に至った原因疾患が、認知症、骨折、筋骨格系疾患、脳血管疾患が多いことからも、糖尿病の発症及び重症化予防が最優先の課題と考えられます。

1

# ご意見(地域保健・医療分野)

#### 1 人とまちの健康づくりの推進

『「自分の健康は自分でつくり・守る」という考えのもと、市民が自分の健康に関心をもち、健康的な生活習慣を身につけ、個人や家族で主体的に健康づくりに取り組むことができるよう…』の文章に関しては、自助(個人の責任)が協調されているような印象を受けました。

古賀市には、ヘルスステーションのような取り組みもありますので、"共助(互助)"も含まれる表現にするのはいかがでしょうか。(例:『自分たちの健康は自分たちでつくり・守る』という考えのもと、市民が個人・家族だけでなく、地域の健康にも関心をもち、健康的な生活習慣を身につけ、主体的に健康づくりに取り組むことができるよう…』)

# ご意見(地域保健・医療分野)

#### 2 保健の充実と医療連携

「特定健診やがん検診の受診、かかりつけ医受診などの促進や保健指導の強化により…」という文章に関して、これらはとても重要と考えますが、特定健診やがん健診は年に1回に限られます。日頃から健康づくりを意識できるような機会をつくることが必要と思います。

生活習慣病に関しては若年層からの取り組みが必要であることからも、若年層からの健康測定会や健康教育(運動の普及や食育の推進)を充実させるような方向性を示してもよいのではないでしょうか。

# 「2-1地域保健の推進と医療との連携促進」の修正

#### 1 人とまちの健康づくりの推進

#### 《修正前》

「自分の健康は自分でつくり・守る」という考えのもと、市民が自分の健康に関心を持ち、健康的な生活習慣を身につけ、個人や家族で主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、情報発信や普及啓発の強化、健康について自ら学び実践する人材の育成などを通じ、市民一人ひとりにあった健康づくりを促進します。

市民がライフステージに応じた身体活動や運動、食育などを通じて健康づくりに取り組むことができるよう、また、健康づくりを地域や職場等に広げ、市全体の健康水準の底上げを図るため、地域や学校、企業などさまざまな団体と連携し、主体的な取組を活発化させ、健康を支える環境づくりを推進します。

#### 《修正後》

「自分<u>たち</u>の健康は自分<u>たち</u>でつくり・守る」という考えのもと、自分の健康に関心を持ち、健康的な生活 習慣を身につけ、主体的に健康づくりに取り組むとともに、個人や家族だけでなく、地域や職場等にも健康づ くりの輪を広げ、市全体の健康水準の向上に寄与することができるよう、情報発信や普及啓発の強化、健 康について自ら学び実践する人材の育成などを通じ、市民一人ひとりにあった健康づくりを促進します。

市民が、学童期、青年期、壮年期、老年期など各ライフステージに応じた身体活動や運動、食育などを通じて健康づくりに取り組むことができるよう、地域や学校、企業などさまざまな団体と連携し、主体的な取組を活発化させ、健康を支える環境づくりを推進します。

# ご意見(高齢者福祉分野)

#### 現状と課題・政策 2 - 2 介護予防と高齢者福祉の推進

古賀市は介護保険の利用料金が最下位の部類に属する。これを 10 年間続けていくのか。高齢者が安全で健康で楽しく生活できるとあるが、これをもっとアピールするべき。ちゃんと施策どおりできているなど良い点を持続する、これにより健康寿命が延伸する等の成果について触れてほしい。またフレイル状態、延命治療や手術を受けた方の生活の質の維持も考慮してほしい。

# ご意見(高齢者福祉分野)

#### 現状と課題

序論は一般論に過ぎない。古賀市ではどうかという具体的な記述があるとよいのではないか。校区によって も異なるのではないか。例えば老老介護や 8050 が古賀市でも共通な問題なのかどうかなど古賀市の言葉 として記載いただきたい。

# 「分野別の現状と課題:高齢者福祉」の修正

#### 現状と課題

#### 《修正前》

多くの高齢者は、介護が必要になっても自宅で暮らすことを望んでいます。住み慣れた地域で人生の最期まで自分らしい生活を送るためには地域の支え合いや助け合いが必要だと考えている高齢者が多くいる一方で、そのような支え合いや助け合いがないと感じている人も少なくありません。本市では、自宅でできる介護予防として「家トレ」、運動や音楽を通じた介護予防として「いきいきボールンピック」や「活き生き音楽交流会」などの活動を推進してきました。今後は、高齢者自身が身近な地域での健康づくり活動や介護予防活動に参加するだけでなく、豊かな知識や経験を活かして地域の担い手となるなど、地域住民や各種団体が互いに連携、協力して支え合い活動を充実させ、地域の課題解決に繋げていくことが必要です。

高齢者が増加し続けるなか、老々介護や介護の担い手不足、介護者の負担の増加などの課題が深刻化していくとともに、生活困窮や80代の親が50代の子どもの生活を支える8050問題などの世帯の複雑化・多様化した問題も顕在化していくものと考えられ、分野を超えて関係機関が連携し、支援していく必要があります。

#### «修正後»

多くの高齢者は、介護が必要になっても自宅で暮らすことを望んでいます。住み慣れた地域で人生の最期まで自分らしい生活を送るためには地域の支え合いや助け合いが必要だと考えている高齢者が多くいる一方で、そのような支え合いや助け合いがないと感じている人も少なくありません。本市では、自宅でできる介護予防として「家トレ」、運動や音楽を通じた介護予防として「いきいきボールンピック」や「活き生き音楽交流会」などの活動が行われており、介護を必要としていない高齢者も多くいます。今後は、高齢者自身が身近な地域での健康づくり活動や介護予防活動に参加するだけでなく、豊かな知識や経験を活かして地域の担い手となるなど、地域住民や各種団体が互いに連携、協力して支え合い活動を充実させ、地域の課題解決に繋げていくことが必要です。

高齢者が増加し続けるなか、生活困窮や80代の親が50代の子どもの生活を支える8050問題などの相談も増えてきており、今後さらに、複雑化・多様化した問題が顕在化していくことが予想されるとともに、 老々介護や介護の担い手不足、介護者の負担の増加などの課題も深刻化していくものと考えられ、分野を 超えて関係機関が連携し、支援していく必要があります。

# ご意見(高齢者福祉分野)

#### 施策とその方向性

項目を以下の4つに分け、文章を整理した方がいいのでは。

①介護予防②権利擁護③生活支援④医療・介護連携

# 「政策2-2介護予防と高齢者福祉の推進」の修正

#### 施策とその方向性

#### 《修正前》

#### 1 みんなで支え合う介護予防の推進

高齢者が、健康に生きがいをもって暮らしていけるよう、地域での介護予防の担い手を育成し、身近な地域のつどいの場における運動や音楽等を通じた住民の交流や自主的な介護予防活動を推進します。

また、生活習慣病をはじめとする疾病の発症や重症化の予防及び心身機能の低下を防止するための支援を一体的に推進します。

#### 2 最期まで尊厳のある暮らしを続けるための支援の充実

高齢者やその家族が抱える複雑化・多様化した問題の解決に向け、包括的な相談体制を充実します。 また、高齢者の権利を擁護するために、成年後見制度の普及、虐待防止に取り組みます。

認知症高齢者やその家族が地域で安心して生活することができるよう、認知症に関する理解を促進する ための啓発や人材育成、早期発見・早期対応のための体制強化などに取り組みます。

医療や介護が必要となっても、住み慣れた地域で本人が望む自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、医療・介護・福祉などさまざまな分野の関係機関との連携を強化し、在宅医療や介護など、サービスの安定的な提供や介護人材の確保、地域、ボランティア、企業、団体等のさまざまな主体が連携して高齢者の困りごとを解消するような支え合いによる地域生活の支援を促進します。

### «修正後»

# 1 みんなで支え合う介護予防の推進

高齢者が、健康に生きがいをもって暮らしていけるよう、地域での介護予防の担い手を育成し、身近な地域のつどいの場における運動や音楽等を通じた住民の交流や自主的な介護予防活動を推進します。

また、生活習慣病をはじめとする疾病の発症や重症化の予防及び心身機能の低下を防止するための支援を一体的に推進します。

# 2 最期まで尊厳のある暮らしを続けるための支援の充実

高齢者やその家族が抱える複雑化・多様化した問題の解決に向け、包括的な相談体制を充実します。 また、高齢者の権利を擁護するために、成年後見制度の普及、虐待防止に取り組みます。

認知症高齢者やその家族が地域で安心して生活することができるよう、認知症に関する理解を促進する ための啓発や人材育成、早期発見・早期対応のための体制強化などに取り組みます。

高齢者の困りごとの解消につながるよう、地域、ボランティア、企業、団体等のさまざまな主体が連携した 支え合いによる地域生活の支援を促進します。

介護人材の育成やICTの活用、医療・介護・福祉の関係機関との連携強化などにより安定的に在宅医療・介護サービスを提供するための体制を確保し、医療や介護が必要となっても、住み慣れた地域で本人が望む自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう支援します。

# ご意見(地域福祉・自立支援分野)

# 現状と課題

今年度から、どのような相談も断らない「包括的な相談支援体制」が構築され、3 中学校区ごとにコミュニティソーシャルワーカーが配置されている。とても良い取組だと思うので、現在取り組んでいる取組として現状と課題の部分に記載した方がいいのではないか。

# 「分野別の現状と課題:地域福祉・自立支援」の修正

#### 現状と課題

#### 《修正前》

景気動向や社会情勢の変化による失業、高齢、病気、障がいなどによる就労困難、無年金・低年金などが原因で経済的に困窮する世帯の中には、利用できる制度を知らないまま問題が進行してしまうケースもあるため、早い段階で必要な支援につなぐことが重要です。

# «修正後»

景気動向や社会情勢の変化による失業、高齢、病気、障がいなどによる就労困難、無年金・低年金などが原因で経済的に困窮する世帯の中には、利用できる制度を知らないまま問題が進行してしまうケースもあるため、早い段階で必要な支援につなぎ解決に導くコミュニティソーシャルワーカーの活動が始まっています。

# ご意見(地域福祉・自立支援分野)

#### 政策 2 - 4 地域福祉の推進と包括的支援の充実

- ●全般的にみて色々な連携・協力という表現が多用されている。かぶっているところ、分野は違うけども似たような取組がなされている事例もあるのではないか。コミュニティ・ソーシャルワーカーが中学校区単位で置かれること初めて知った。中核となり全般を担うという視点をもったまとめ役が必要ではないか。文面からではバラバラになっているように見える。包括的支援の部分でこうしたことが記載できないか。
- ●コミュニティ・ソーシャルワーカーは公を支えるという役割と認識。社会福祉協議会の役割をより明確に記載するのはどうか。
- ●地域福祉の肝はコミュニティ・ソーシャルワーカーではないかと考える。高齢者だけでなく子ども、経済的困窮など地域の問題への対応、相談を断らない体制は理想的。この記載ぶりでは、福祉課はそういう思いがないように感じる。10年間の計画としては重要と考えている。

# 「政策2-4 地域福祉の推進と包括的支援の充実」の修正

#### 施策とその方向性

#### 《修正前》

#### 1 困ったときに頼り合える地域福祉の推進

身近な地域の中で、誰もが気軽に集い交流することができる場づくりをはじめ、孤立せず社会とつながるための地域活動への参加支援や見守り活動を促進します。

また、市民が主体的に地域にある身近な生活課題を把握し、地域の支え合いで解決できるよう、民生委員・児童委員、自治会等近隣住民、ボランティア、NPO、企業などの関係者が協力・連携できる互助・共助の体制づくりを推進します。

#### 2 自立支援の推進と包括的支援の充実

生活に困窮する人に、個々の状況に応じた相談対応や住まいの確保、就労支援、家計への助言など自立に向けたきめ細かな支援を推進します。

また、課題が深刻化しないよう、早期に適切な支援につなぐ仕組みを整備するとともに、複雑化・多様化した課題、制度の狭間にある課題について総合的に相談を受け止め、関係機関が連携しながら解決を図ることができるよう、包括的支援を充実します。特に子どものいる家庭については、貧困の連鎖を断ち、すべての子どもが夢と希望をもって成長していくことができるよう支援します。

#### 《修正後》

#### 1 困ったときに頼り合える地域福祉の推進

身近な地域の中で、誰もが気軽に集い交流することができる場づくりをはじめ、孤立せず社会とつながるための地域活動への参加支援や見守り活動を促進します。

また、市民が主体的に地域にある身近な生活課題を把握し、地域の支え合いで解決できるよう、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、自治会等近隣住民、ボランティア、NPO、企業などの関係者が協力・連携できる互助・共助の体制づくりを推進します。

# 2 自立支援の推進と包括的支援の充実

生活に困窮する人に、個々の状況に応じた相談対応や住まいの確保、就労支援、家計への助言など自立に向けたきめ細かな支援を推進します。

また、課題が深刻化しないよう、困りごとを抱えている人が早期に適切な支援につながる仕組みを整備するとともに、複雑化・多様化した課題、制度の狭間にある課題について総合的に相談を受け止め、関係機関と連携しながら解決を図ることができるよう、包括的支援を充実します。

# ご質問(地域福祉・自立支援分野)

#### 政策 2 - 4 地域福祉の推進と包括的支援の充実

事前質問において「地域福祉を推進するうえで、自治会や地域福祉団体との協力・連携、互助・共助の体制づくりが必要だと認識しております。」と回答されている。

質問の主旨は、「自治会や地域福祉団体が行政と協力・連携、互助・共助の体制づくりを進めていくためには、自治会や地域福祉団体が抱えている「担い手の高齢化や加入率の低下、後継者不足等」の様々な課題に対し、自治会や地域福祉団体を支える、ともに考えていくという姿勢が必要ではないか。」です。協力・連携、互助・共助の体制づくりが必要だと認識したうえで、どのような施策展開をイメージしているのかご回答ください。

# 回答

自治会や地域福祉団体が抱えている「担い手の高齢化や加入率の低下、後継者不足等」に対し、どのような方向で施策を進めていくかについては、第 6 回審議会で審議予定の「基本構想の推進(コミュニティ活動・行政経営分野)」分野で記載することとしております。